

科目名	パフォーマンス (Vo)	担当教員名	奈良木 浚赫	
時間数	60	必修・選択	配当年次	1年次
曜日・時限		必修	教室	EN631
授業の到達目標	ボイストレーニング、歌唱における基礎力の向上、 基礎力の定着及び、アーティストとしての表現力の向上			
授業の内容	※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する 発声の基礎となる低音、声帯のストレッチ、ファルセットのトレーニング方法を伝えると同時に、洋楽の課題曲を与え、コピーを目標に日々練習をしてもらい、発声、歌唱ともに毎授業トレーニング成果をチェックし、プロとして必要な声、歌唱力を身につける。また、授業のはじめに外化（会話）を一人づつ行う。日々の生活の中で感じた事、想っている事を話してもらい、コミュニケーションを取りながら「伝える」という事を学ぶ。 【実務経験】2007年にOSMを卒業後、日本を代表するゴスペルグループSOULMATICSのメンバーとして活動中。LA、シカゴ、韓国などの海外ツアーへの参加や、2015、2017に東宝ミュージカル「RENT」へ出演すると同時にカンパニーの歌唱指導を担当。現在は関西ジャニーズJr.のボーカルトレーニングを行なっている。			
回数	授業形態	内容		
1	演習	短いカウンセリング(質疑応答)、目標の確認、発声チェック、歌唱チェック		
2	演習	外化、発声チェック、歌唱チェック(目標に合わせて深くアプローチ)		
3	演習	外化、発声チェック、歌唱チェック(目標に合わせて深くアプローチ)		
4	演習	外化、発声チェック、歌唱チェック(目標に合わせて深くアプローチ)		
5	演習	外化、発声チェック、歌唱チェック(目標に合わせて深くアプローチ)		
6	演習	外化、発声チェック、歌唱チェック(目標に合わせて深くアプローチ)		
7	演習	外化、発声チェック、歌唱チェック(目標に合わせて深くアプローチ)		
8	演習	外化、発声チェック、歌唱チェック(目標に合わせて深くアプローチ)		
9	演習	外化、発声チェック、歌唱チェック(目標に合わせて深くアプローチ)		
10	演習	外化、発声チェック、歌唱チェック(目標に合わせて深くアプローチ)		
11	演習	外化、発声チェック、歌唱チェック(目標に合わせて深くアプローチ)		
12	演習	外化、発声チェック、歌唱チェック(目標に合わせて深くアプローチ)		
13	演習	外化、発声チェック、歌唱チェック(目標に合わせて深くアプローチ)		
14	演習	(ワークショップ)		
15	演習	(ワークショップ)		
準備学習 時間外学習	授業でおこなった発声練習を、1日30分週4日以上行う 課題曲の練習			
成績評価	1. 実技試験 (%) 2. 筆記試験 (%) 3. 課題 (%)	実技試験：100%		
教材	教科書			
	参考書			

科目名	パフォーマンス (Gt)		担当教員名	浅沼毅一
時間数	60	必修・選択	配当年次	1年次
曜日・時限		選択	教室	E N232
授業の到達目標	<p>簡単なメロディの演奏（単音）が出来るようになること。簡単なコード譜に合わせて適切なスタイルのリズムで伴奏（和音）が出来るようになること。また実際の譜面を通してプロミュージシャンとして必要な最低限の楽譜の知識や理論も身につける。</p>			
授業の内容	<p>※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する</p> <p>ギター未経験者、初級レベルの学生を対象に、エクササイズや課題曲を通してギターを弾くために必要な知識やテクニックを段階に応じて学んで行きます。4beat、8beat、16beat rhythmなどの演奏スタイルに特化した課題曲を演奏する事でそれぞれの違いを体感し学びます。</p> <p>【実務経験】大阪スクールオブミュージック卒業後渡米、Berklee音楽大学へ入学。2002年パフォーマンス科を優等で卒業後帰国、各種演奏の仕事に参加。2002年より母校である大阪スクールオブミュージックにて教鞭をとる。</p>			
回数	授業形態	内容		
1	演習	ギターの各部位の名称、仕組み、チューニング、ピックの持ち方、ギターの構え方		
2	演習	ピックで任意の弦を弾く(単音、和音) パワーコード(Root+5th)		
3	演習	コード進行に合わせてコードチェンジ(コードは3つ程度)		
4	演習	右手のストローク・リズム(全音符、二分音符、四分音符、八分音符)		
5	演習	外化、発声チェック、歌唱チェック(目標に合わせて深くアプローチ)		
6	演習	ブリッジミュートなどの右手のテクニック		
7	演習	実際にアンプで音を出してみる		
8	演習	16th note feel		
9	演習	シンコペーション、右手のストローク(空ピッキング、カッティング)		
10	演習	5弦、6弦の音名、ポジションの拡張(12フレットまで)		
11	演習	オープンコード、セーハーコード		
12	演習	課題曲のおさらい		
13	演習	総復習		
14	演習	(ワークショップ)		
15	演習	(ワークショップ)		
準備学習 時間外学習	授業で学んだことを自分なりに整理し明確にする。			
成績評価	1. 実技試験 (%) 2. 筆記試験 (%) 3. 課題 (%)	実技試験：100%		
教材	教科書	オリジナルの資料		
	参考書			

科目名	パフォーマンス（Ba）	担当教員名	桑原 正
時間数	60	必修・選択	配当年次
曜日・時限		選択	教室
授業の到達目標	ベースという楽器を基礎から学び楽器の特性を知ること为目标とする。授業内のテーマを学習することにより、楽曲におけるベースの役割を学び自己の音楽力向上が目標となる。		
授業の内容	※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する 定番のフレーズを持つ課題曲を通じてリズムや音使い、フォームや運指などベースの基礎を学びます。		
【実務経験】 1993年大阪スクールオブミュージック専門学校卒業後、関西を中心にLive活動をする。インストラクターとしても15年以上のキャリアを持つ。			
回数	授業形態	内容	
1	演習	Cメジャースケールを色々なポジションで弾く。	
2	演習	定番の8beatフレーズを弾く。	
3	演習	課題曲、Have you Ever Seen The Rain	
4	演習	（初めてベースを弾く人も、曲を最後まで演奏する感覚を知ってもらう。）	
5	演習	外化、発声チェック、歌唱チェック（目標に合わせて深くアプローチ）	
6	演習	（ 8 beat の定番フレーズのトレーニング。）	
7	演習	課題曲、Every Breath You Take	
8	演習	（ 8 best の定番フレーズのトレーニング。）	
9	演習	運指トレーニング（左右のフォームをチェックする。）	
10	演習	課題曲、Get Ready	
11	演習	（ベースのリフが中心となる曲をトレーニングする。）	
12	演習	Slapトレーニング（Slap奏法をトレーニングする。）	
13	演習	前期のまとめ	
14	演習	（ワークショップ）	
15	演習	（ワークショップ）	
準備学習 時間外学習	前回授業の内容を復習。		
成績評価	1. 実技試験（%） 2. 筆記試験（%） 3. 課題（%）	実技試験：100%	
教材	教科書		
	参考書		

科目名	パフォーマンス (Dr)		担当教員名	杉山聡信
時間	60	必修・選択	配当年次	1年次
曜日・時限		選択	教室	EN231
授業の到達目標	<p>ドラムを通して様々なリズムに触れ、仕組みを理解し、実際にドラムセットに触れて演奏してみることで、音楽力・リズム力の向上を目指し自身の本来のパートを強化することが目標である。</p>			
授業の内容	<p>※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する 毎授業ごとに変わる課題曲を用いて演奏に必要なリズムパターンを学習。ジャンル毎に必要なフレージングを覚え実際にドラムセットを使い演奏し習得する。</p> <p>【実務経験】2006年OSMを卒業後、自身のバンドでCDデビュー。バンド活動と共にシンガーソングライターのバックバンドも数多く担い現在プロ活動14年目を迎え、メジャーでは主にavexやよしもとクリエイティブエージェンシーのアーティストの他、FM802や吉本興業の芸人のバックバンドも務めている。吉本新喜劇の内場勝則座長のミュージカルでのドラム演奏指導などレッスン業も勢力的に行っている。</p>			
回数	授業形態	内容		
1	演習	課題曲の分析と必要なリズムパターンの講義・実習。		
2	演習	課題曲の分析と必要なリズムパターンの講義・実習。		
3	演習	課題曲の分析と必要なリズムパターンの講義・実習。		
4	演習	課題曲の分析と必要なリズムパターンの講義・実習。		
5	演習	外化、発声チェック、歌唱チェック(目標に合わせて深くアプローチ)		
6	演習	課題曲の分析と必要なリズムパターンの講義・実習。		
7	演習	課題曲の分析と必要なリズムパターンの講義・実習。		
8	演習	課題曲の分析と必要なリズムパターンの講義・実習。		
9	演習	課題曲の分析と必要なリズムパターンの講義・実習。		
10	演習	課題曲の分析と必要なリズムパターンの講義・実習。		
11	演習	課題曲の分析と必要なリズムパターンの講義・実習。		
12	演習	課題曲の分析と必要なリズムパターンの講義・実習。		
13	演習	課題曲の分析と必要なリズムパターンの講義・実習。		
14	演習	(ワークショップ)		
15	演習	(ワークショップ)		
準備学習 時間外学習	<p>ドラムは同じパターンでできあがっている部分が大いにあり、何度も同じ動きを繰り返して慣れることが重要です。毎回紹介されるリズムパターンを繰り返し慣れるまで練習してきてください。</p>			
成績評価	1. 実技試験 (%) 2. 筆記試験 (%) 3. 課題 (%)	実技試験：100%		
教材	教科書			
	参考書	随時配布、譜面、音資料		

科目名	パフォーマンス (Key)		担当教員名	中山 智義
時間数	60	必修・選択	配当年次	1年次
曜日・時限		選択	教室	E N 332
授業の到達目標	<p>弾き語りの演奏ができる。</p> <p>弾き語りに必要なコードの展開、多様な音階を理解する。</p> <p>弾き語りに必要な演奏力を養うための練習を行う。</p>			
授業の内容	<p>※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する</p> <p>全体でのスケール練習。コード演習。ピアノ曲の練習等。</p>			
<p>【実務経験】大阪芸術大学在学中より、佐川満男、増田俊郎等のバックメンバーとして音楽活動を開始。OSM開校当初より、キーボード科講師として後進の育成にあたる。1990年以降には、音楽制作ユニット"Groovers"にて多くのCM、映画、テレビドラマ、ゲーム等の楽曲制作を手掛ける。近年では、「Too young to die!若くして死ぬ」「ナミヤ雑貨店の軌跡」等、映画中での演奏を担当する。</p>				
回数	授業形態	内容		
1	演習	授業説明 到達目標について 音名音階の説明		
2	演習	復習 音階の練習(メジャースケール)		
3	演習	スケールの練習 C~B(白鍵)コードの説明メジャー、マイナー		
4	演習	スケールの練習 コードの演習(トライアド)		
5	演習	外化、発声チェック、歌唱チェック(目標に合わせて深くアプローチ)		
6	演習	スケールの練習 楽曲1を使って演奏の練習		
7	演習	スケールの練習 楽曲1を使って演奏の練習		
8	演習	スケールの練習 楽曲1を使って演奏の練習		
9	演習	スケールの練習(any key)		
10	演習	スケールの練習 セブンスコードの説明		
11	演習	スケールの練習 楽曲2を使って演奏の練習		
12	演習	スケールの練習 楽曲2を使って演奏の練習		
13	演習	実技テスト・振り返り		
14	演習	(ワークショップ)		
15	演習	(ワークショップ)		
準備学習 時間外学習	自宅、学校等で鍵盤に触れる			
成績評価	1. 実技試験 (%) 2. 筆記試験 (%) 3. 課題 (%)	実技試験：100%		
教材	教科書			
	参考書	指定する楽譜等		

科目名	パフォーマンス (Vo)		担当教員名	桜田ヒロキ
時間数	60	必修・選択	配当年次	2年次
曜日・時限		必修	教室	EN531
授業の到達目標	<p>・声の発せられるメカニズムの理解・自分の行うべき改善目標の具体化・具体化された目標を実際に到達させるためのトレーニングの日常化（トレーニング・メニューは別途お送りします）・隔週で個別に声の状態を確認し、常に的確なエクササイズの割り当てを目指す</p>			
授業の内容	<p>※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する ハリウッド式ボイストレーニング（V o c a l i z e Uで使われる発声理論）を用いて音域の拡大・音色の改善・音量の増強を行う</p>			
	<p>【実務経験】 マイケル・ジャクソン、スティービー・ワンダーのコーチSeth Riggsのトレーニングメソッドの日本人2人目の公認インストラクター。アーティスト担当、ライブ帯同多数。</p>			
回数	授業形態	内容		
1	演習	セミナー形式でそれぞれの悩みを聞き、実際に解決。前期に行うメニューのオーバー・ビューを見せる		
2	演習	トレーニング・メニュー、声の弱点タイプの理解（別紙参照）		
3	演習	トレーニング・メニュー（別紙参照）、エクササイズの割り当て		
4	演習	トレーニング・メニュー（別紙参照）、生理学的な声帯の動きを理解する		
5	演習	外化、発声チェック、歌唱チェック（目標に合わせて深くアプローチ）		
6	演習	トレーニング・メニュー（別紙参照）、ビブラートに対する理解・エクササイズ		
7	演習	トレーニング・メニュー（別紙参照）、エクササイズの割り当て		
8	演習	トレーニング・メニュー（別紙参照）、ボイストレーニングにおける母音の考え方		
9	演習	トレーニング・メニュー（別紙参照）、エクササイズの割り当て		
10	演習	トレーニング・メニュー（別紙参照）、音階練習・音程の考え方		
11	演習	トレーニング・メニュー（別紙参照）、エクササイズの割り当て		
12	演習	トレーニング・メニュー（別紙参照）、トレーニングにおける音程音階を理解した上で適切な練習曲の選び方を理解する		
13	演習	トレーニング・メニュー（別紙参照）、エクササイズの割り当て		
14	演習	トレーニング・メニュー（別紙参照）、semi-occludedエクササイズの音声学的な解説（リップバブル・ストローエクササイズなど）		
15	演習	トレーニング・メニュー（別紙参照）、エクササイズの割り当て		
準備学習 時間外学習	個人練習と前回の授業振り返り			
成績評価	1. 実技試験 (%) 2. 筆記試験 (%) 3. 課題 (%)	実技試験：100%		
教材	教科書			
	参考書	Singing for the stars (Seth Riggs), Vocology (Ingo Titze), Singing Success (Brett Manning), Ultimate Voice Training for singers (Billy Purnell)		